

差別事象等一覧(前回会議報告以降の事象)

事象種別	事象分類	年月日	場 所	発見者	内 容	対 応
発言	外国人	平成30年7月9日	市内小学校	教員	児童Aがボールをついてはいけない所でついていたので、児童Bが注意したところ言い合いになり、児童Aの「日本人だまれ」に対して児童Bは「お前こそベトナム帰れ」と発言。	関係する児童から聞き取りをし、事実確認を行った。両者の発言はいずれも差別発言であることを指導し、関係する保護者へも指導内容、今後の指導方針等について説明を行った。
発言	外国人	平成30年7月10日	市内小学校	教員	授業中にマルつけのため並んでいた児童Aが、児童Bに対して「あなたは〇〇(Bのフルネーム)ですか」と尋ねた。これに対して児童Bは「うるさい、中国」と発言。	児童Bに対して聞き取り・指導を行い、児童Bは児童Aに対して謝罪。その後、担任から学級全体への指導を行うとともに、両児童へのケアを図る。また、児童A、Bの保護者へも報告をし、保護者との連携を図る。
発言	外国人	平成30年8月17日	青少年会館	職員	青少年会館で児童Aと児童Bが小競り合いとなり、AがBに対して、「中国人、もっとちゃんと日本語しゃべれ」と発言。	青少年会館から児童Aに聞き取りを行った上で指導し、児童Aは児童Bに謝罪。また、青少年会館からA、Bの保護者へ報告を行った。
発言	外国人 同和問題	平成30年11月17日	青少年センター	市民	ひゅーまんフェスタ内の市民団体主催講演会に参加していたAが質疑応答の際に、多文化共生社会を否定した上で、ベトナム人や韓国人等、外国人のことを「〇〇人」と発言。また、講演会後、講師との話し合いの際、「昔、大阪に来たときに〇〇とは付き合うなと言われた」と発言。	講師、参加者とともに発言の差別性を指摘するとともに、人権政策課職員が今後の啓発のため、氏名、住所、連絡先等を聞くが、Aは応じず振り払って帰ってしまった。
発言	同和問題	平成30年12月13日	人権政策課への電話	職員	市民から人権政策課への電話において、「同和地区は犯罪者が多い」と発言。	職員が差別性を指摘し、名前と連絡先、発言に至った経緯を確認したが、名前だけを告げて一方的に電話を切られた。
発言	障がい者	平成30年12月27日	水道局	委員	市が事務局として運営する協議会において、退院後の患者さんの情報を得ることが出来ていないことを表現する際に聴覚障がい者を侮蔑する表現を使い、「〇〇」と発言。	出席していた事務局職員より会議終了後に差別性を指摘。引き続き開催された同メンバーが複数出席する、別の協議会において、発言者より、発言の訂正及び謝罪が行われた。